

新日鉄住金停電・黒煙事故

原因究明と安全対策を 佐々木、井上議員が調査

愛知県東海市の新日鉄住金が6月22日、停電による大量の黒煙を出した問題で、佐々木憲昭衆院議員、井上哲士参院議員は、同25日、調査に入り、東海市や愛知県の担当者から説明を受け、住民や労働者と懇談を持ちました。



火柱、黒煙を上げる新日鉄製鉄所=6月22日

「事故と認識している」と明言—愛知県

愛知県では環境部から当日の対応などを聞きまし
た。環境活動推進課の大村
課長は、新日鉄が事故では
なく通常の行為だと説明し
ていることに対し、「県は事
故だと認識している。県民
に迷惑をかけたことは間違
いない」と新日鉄に伝え、
報告書の提出を求めている
と説明しました。また、す
すで車が汚れるなどの被害
に対して、新日鉄が補償す
ることになっているので住
民に周知するよう同社に伝
えると述べました。

大気測定4種類—東海市

東海市では環境経済課や
消防本部から説明をうけま
した。

今年1月の事故とは違っ
て、発生直後に会社から消防
に連絡があったこと、直後に
大気を調べ「有害物質」は出
ていないことを確認したと
説明。しかし、測定したのは
一酸化炭素や硫化水素など
4種類のみでした。

また、50年前の創業時から
使っている設備もあると説
明しました。



付近から様子を見る佐々木、井上氏ら=6月25日

知事が会社に 説明を要求

大村知事は25日の
記者会見で、今回の事
故に関し、本社の役員
を呼んで再発防止を
申し入れる考えを明
らかにしました。

また、東海市は党国
會議員団の調査のあ
と、原因究明と抜本的な解決を製鉄所側に口頭で
要請しました。

新日鉄が記者会見「人為ミスの事故」認める

新日鉄は1日、記者会見を開き、酒本義嗣所長
が、1月以降3回の停電によるトラブルは人為ミ
スが原因だったとし、黒煙を発生させたことを謝
罪しました。また同所長は、作業員個人のミスで
はなく装置の配置や手順に問題があったことを
指摘したといっています。

住民、労働者と懇談



住民懇談会では、「真っ赤な火柱が十本以上あ
がり黒煙が立ち上った」「臭いがきつかった」な
ど、生々しい体験が語られました。同社の労働者、
元労働者から職場の様子が紹介され、公害問題に
取り組む無所属の市議も参加されました。

新日鉄黒煙問題 6月22日午後、電気設備の作業中に停電が発
生。コークス炉内の一酸化炭素を排出できない事態になり、強
制的にガスを燃焼させ、火柱や大量の黒煙を発生させました。
同社では1月にも2回、同様の事故を起こしており、その時に
決めた安全対策が完了しないまま操業を再開していました。